



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で自分らしく生きていくためには、地域の人々と顔が見える関係を築き、お互いに支え合うことが大切です。サークル活動や趣味の仲間、近所付き合いやお茶飲み仲間など、人と人のつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。今回は、そんな地域の交流（地域のお宝）について紹介します。



九合地区「ご詠歌」



**ご詠歌を唱える様子
肅々とした空気が流れます**

「ご詠歌」とは・・・

五・七・五・七・七の和歌形式で作られた詩に旋律をつけて歌う、伝統文化の一つです。

五七調、あるいは七五調の詩に曲をつけたものを「和讃」と呼び、広い意味で「ご詠歌」としています。歌う時は声を長く引き延ばして詩を歌います。



この会は第2・第4木曜日に飯塚町正泉寺を会場にしてご詠歌を歌っています。元々は「さつき会」という婦人会のメンバーから波及して始まりました。発足当時は27名在籍していましたが、現在は7名で活動しています。

背筋を伸ばして、心を整えて歌う時間は日頃の喧噪から心が解放されます。ご詠歌の休憩時間や、終了後にはおしゃべりや情報交換に花が咲きます。そこで**ストレス発散**もでき、気持ちよく家に帰れます。



会員紹介

みんなの楽しみ教えて!!

ご住職の奥様です。平成6年に正泉寺の婦人会「さつき会」を作り、女性がつながりを深めるきっかけとなりました。ご詠歌だけが目的ではなく、会員同士が顔を合わせておしゃべりしたり、情報交換して気持ちよく帰ってもらえることが何より嬉しいです。



大澤 寿美子さん (83歳)

一期生。農家で外に出る機会がなかったが、この会をきっかけに有名な寺にバスで行ったり良い思い出がたくさん増えました。



岡田 コウさん (86歳)

一期生。サロンや老人施設のボランティア活動に200回以上行っています。県大会記念バッチのデザインに3回採用されました。



小澤 和子さん (83歳)

一期生。仕事や子育てで大変だった時に始めました。全国大会の時に、歌手の南こうせつさんにご詠歌を披露したことが心に残っています。



吉田 和子さん (76歳)

二期生。この会をきっかけに他地域の仲間と交流を図る機会ができて、それが楽しみです。趣味で三味線と八木節を習っています。



丸岡 初江さん (73歳)

二期生。「さつき会」で募集があり入会しました。普段は仕事をしていますが、ここへ来るときは休んできます。おしゃべりをするのがとても楽しみです。



丸岡 陽子さん (70歳)

二期生。入会してから、ずっと通っています。一緒に入会した丸岡陽子さんとは一緒に生け花も習っていて、家族ぐるみでお付き合いしています。



岡田 久美子さん (72歳)



活動中、みんなで情報交換したり、他愛のないおしゃべりをしながら楽しく過ごすことが、会員の皆さんの楽しみとなり、つながりもより深くなる「居場所」となっていました!

★あなたの地域のお宝情報を募集しています!
「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします。

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229



詳しくはこちら